

【書式5】建物建築禁止仮処分命令申立書・物件目録

建物建築禁止仮処分命令申立書

収 入
印 紙

令和〇年〇月〇日

東京地方裁判所民事第9部 御中

債権者代理人弁護士 ○ ○ ○ ○ 印

当事者の表示 別紙当事者目録記載のとおり（※省略）
仮処分により保全すべき権利 土地通行権

申立ての趣旨

債務者は、別紙物件目録記載の土地のうち、別紙図面中の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(イ)の各点を順次直線で結んだ範囲内の土地につき、建物を建築してはならない。
との裁判を求める。

申立ての理由

第1 被保全権利

1 債権者と債務者との間には、御庁令和〇年(7)第〇〇〇〇号事件において、令和〇年〇月〇日に申立ての趣旨記載の土地の範囲内（本件土地）について「債務者は債権者の通行を妨害してはならない」旨の裁判上の和解が成立している（甲1）。

第2 保全の必要性

1 しかしながら、債務者は、本件土地を含む別紙物件目録記載の土地に3階建のビルを建築すべく企画し、既に令和〇年〇月〇日に建築確認を得て、同年〇月〇日に債権者を含む周辺住民に対し、既に確認を得ているから建築に協力されたい旨を申し出てきた（甲2, 3, 4）。

2 債権者は、本件土地の南側に隣接する家屋に居住しており、別紙図面中のA, B

の出入口より出入りしている（甲4，5）。したがって，債権者にとって本件土地の通行権を確保することは，絶対に必要なことであり，上記の裁判上の和解をしたのも，上記通行権を確保するためである。

3 債権者は，債務者を被告として，御庁に本件土地の通行妨害禁止の訴訟を提起すべく準備中であるが，債務者においては，本件土地上に，今月中にも上記ビルを建築着工する予定である（甲3，5）。

4 よって，直ちに申立ての趣旨記載のとおり裁判を得なければ，著しい損害を被り，本案訴訟を待つことができないので，本件土地の通行権を保全するため本申立てに及ぶ次第である。

疎明方法

甲1号証	口頭弁論調書（和解）正本
甲2号証	建築確認申請書写し
甲3号証	通知書
甲4号証	写真撮影報告書
甲5号証	報告書

添付書類

甲号証	各1通
固定資産評価証明書	2通
登記事項証明書	1通
訴訟委任状	1通

物 件 目 録

所 在 〇〇区〇〇町〇丁目
地 番 1 5 3 番 1
地 目 宅地
地 積 〇〇〇. 〇〇平方メートル

(※別紙図面省略)